



日本商業学会 第3回全国研究報告会プログラム

テーマ:消費者行動

関東部会代表理事 懸田 豊・関西部会代表理事 小林 哲
第3回全国研究報告会企画委員 高橋郁夫・清水 聡
開催校 細井謙一

開催日時 2012年12月15日(土)・16日(日)

会場 広島経済大学 立町キャンパス(キャンパスをよくご確認ください)

住所:広島市中区立町2-25 IG石田学園ビル (受付:4階142教室)

JR広島駅より、広島電鉄(路面電車、1、2、6号線)立町電停下車、すぐ(乗車時間約10分)

アクセス・マップ

<http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/place.html>

広島電鉄路線図

<http://www.hiroden.co.jp/train/rosenzu/map/lines.pdf>

参加費 (研究会) 1,000円
(懇親会) 3,500円

参加申し込み 次の専用メールアドレスにご所属とお名前を明記の上、研究会・懇親会それぞれについてのご参加の有無を
12月9日(日)までにお知らせください。

Jsmd_hiroshima_2012@hue.ac.jp

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

12月15日(土)

12:00	受付開始(受付および休憩室:142教室)	
	<流通研究セッション(141教室):司会 清水聰(慶應義塾大学)>	
12:30	寺本高(明星大学)	
~13:10	情報先端層による新製品の話題発信と購買意思決定—新製品飲料サンプリングをケースに	
13:10	井上淳子(立正大学)	
~13:50	新製品の話題力と消費者の反応	
	(休憩)	
14:00	齊藤嘉一(明治学院大学)	
~14:40	考慮集合形成における購買経験のあるブランドのWOMの効果	
14:40	石淵順也(関西学院大学)	
~15:20	通り過ぎられない商業集積の魅力—フロー阻止効果モデルの構築と実証	
	<消費者セッション(141教室):司会 寺本高(明星大学)>	<ネットワークセッション(131教室):司会 澁谷寛(東北大学)>
15:30	山下隆弘(無所属)	菊盛真衣(慶應義塾大学大学院)
~16:10	情報処理系としての消費者モデル—伝統的モデルから新しいモデルへ	ブランドの評価におけるeクチコミの影響—クチコミ対象ブランドの認知性と製品種類に着目して
16:10	太田壮哉(明治大学)	杉谷陽子(上智大学)
~16:50	取引限界的満足の現代的意義—消費者の情報探索行動と消費者レビューに焦点を当てて	新規ブランド構築における消費者間コミュニケーションの効果
	(休憩)	(休憩)
17:00	広瀬盛一(東京富士大学)・田部溪哉(早稲田大学)	大驛潤(東京理科大学)
~17:40	携帯電話を用いた健康促進サービスの利用について	消費者間の相互作用的なネットワーク
18:00		
~20:00	懇親会(142教室)	

12月16日(日)

	<消費者行動と地域商業(141教室):司会 加藤司(大阪市立大学)>	<国際・その他(131教室):司会 松井剛(一橋大学)>
9:30	坂田博美(富山大学)	鷲田祐一(一橋大学)
~10:10	自己目的志向の小売商業—キルトショップ・オーナーの事例分析	中国への日本のデザインビジネス輸出に関する産業構造的課題
10:10	田村直樹(関西外国語大学)	千葉貴宏(慶應義塾大学大学院)
~10:50	京都市コトチカ四条の独占的競争優位と地下鉄利用者の消費行動—商店街復興示唆のための事例研究	満足研究、リカバリー研究、サービス・エンカウンター研究の再検討—社会的交換理論に基づいて
	(休憩)	(休憩)
11:00	高橋広行(流通科学大学)、新倉貴士(法政大学)	平野英一(九州産業大学)
~11:40	消費者視点の業態研究—スクリプト概念による食品スーパーの業態認識	土曜日を消費する—土曜日の消費の意味と役割を考察する
11:40	高橋郁夫(慶應義塾大学)	弘津真澄(福岡大学)
~12:20	都市レベルで見た1990年代以降の小売形態別市場潜在力の規定要因	「知識をお金で補う人」「知識でお金の無さを補う人」と、その変容過程—3回のアンケート調査と公的な統計データより